



平成20年3月期 第3四半期財務・業績の概況（非連結）

平成20年1月25日

上場会社名 株式会社タカキタ 上場取引所 東証二部・名証二部
 コード番号 6325 URL <http://www.takakita-net.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 若山 東男
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役総務部長 (氏名) 沖 篤義 TEL (0595) 63-3111

(百万円未満切捨て)

1. 平成20年3月期第3四半期の業績（平成19年4月1日～平成19年12月31日）

(1) 経営成績

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期(当期)純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
20年3月期第3四半期	6,665	△8.8	219	1.4	238	4.8	125	1.5
19年3月期第3四半期	7,308	△16.1	216	△1.3	227	△1.0	124	6.7
19年3月期	9,403	—	231	—	243	—	103	—

	1株当たり四半期(当期)純利益		潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益	
	円	銭	円	銭
20年3月期第3四半期	7	88	—	—
19年3月期第3四半期	7	76	—	—
19年3月期	6	48	—	—

(2) 財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率		1株当たり純資産	
	百万円		百万円		%		円	銭
20年3月期第3四半期	6,914		4,074		58.9		254	86
19年3月期第3四半期	7,209		4,109		57.0		257	02
19年3月期	7,037		4,091		58.1		255	90

(3) キャッシュ・フローの状況

	営業活動による キャッシュ・フロー	投資活動による キャッシュ・フロー	財務活動による キャッシュ・フロー	現金及び現金同等物 期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
20年3月期第3四半期	△272	158	142	289
19年3月期第3四半期	△172	△3	188	20
19年3月期	163	△1	91	260

2. 平成20年3月期の業績予想（平成19年4月1日～平成20年3月31日） 【参考】

第3四半期の業績は予定通り推移しており、平成19年5月16日に公表しました業績予想の見直しはおこなっておりません。

3. その他

(1) 会計処理の方法における簡便な方法の採用の有無 : 有

(2) 最近事業年度からの会計処理の方法の変更の有無 : 有

(注) 詳細は、3ページ【定性的情報・財務諸表等】3. その他をご覧ください。

【定性的情報・財務諸表等】

1. 経営成績に関する定性的情報

当第 3 四半期会計期間におけるわが国経済は、景気は緩やかながらも回復基調で推移しているものの、原油価格や原材料価格の高騰に加え、サブプライムローン問題に端を発し株価や為替が大きく影響を受け、景気の先行きに不透明感が強まりました。

農業をとりまく環境につきましては、農業従事者の高齢化や農家戸数の減少等の構造的な要因や、酪農情勢の低迷、さらには新農政の進展による農業の構造変化の影響を受け、農業機械の買い控えが顕著となり、国内需要は低調に推移しました。

このような情勢のもと、農業機械部門におきましては、主力機種であります牧草関連作業機や土づくり関連作業機等のラインナップの充実及び輸出の拡大等に努めましたものの、雪関連作業機は例年に比べ降雪量が少なかった事等もあり、売上高は35億79百万円（前年同期比0.3%減）となりました。また、電器音響部門におきましては、得意先からの受注が減少し、売上高は26億38百万円（前年同期比20.4%減）となりました。そして、軸受部門におきましては、風力発電用をはじめとした大型軸受の受注が増加し、売上高は4億47百万円（前年同期比10.2%増）となりました。

以上の結果、当第 3 四半期の売上高は66億65百万円（前年同期比8.8%減）となりました。利益面におきましては、売上高の減少や原材料費の上昇がありましたものの、経営の効率化を図り経費の削減やコストダウン等に取り組みました結果、営業利益は2億19百万円（前年同期比1.4%増）、経常利益は2億38百万円（前年同期比4.8%増）、四半期純利益は1億25百万円（前年同期比1.5%増）となりました。

2. 財政状態に関する定性的情報

当第 3 四半期会計期間末における総資産は、前第 3 四半期末に比べ2億95百万円減少し、69億14百万円となりました。これは主に売掛金が1億75百万円、たな卸資産が1億14百万円それぞれ減少したことによるものであります。

当第 3 四半期会計期間末における負債合計は、前第 3 四半期末に比べ2億60百万円減少し、28億40百万円となりました。これは主に買掛金が3億75百万円減少したことによるものであります。

当第 3 四半期会計期間末における純資産は、前第 3 四半期末に比べ35百万円減少し、40億74百万円となりました。これは主にその他有価証券評価差額金が59百万円減少したことによるものであります。その結果、自己資本比率は、前第 3 四半期末の57.0%から58.9%となりました。

(キャッシュ・フローの状況)

当第 3 四半期会計期間における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、たな卸資産の減少等の要因により、前事業年度末に比べ28百万円増加し当第 3 四半期末には2億89百万円（前年同期比1,318.7%増）となりました。

また、当第 3 四半期会計期間における各キャッシュ・フローの状況は次の通りであります。

営業活動によるキャッシュ・フロー

当第 3 四半期会計期間において営業活動の結果使用した資金は、2億72百万円（前年同期は1億72百万円の使用）となりました。これは主に仕入債務の減少2億96百万円等を反映したものであります。

投資活動によるキャッシュ・フロー

当第 3 四半期会計期間において投資活動の結果得られた資金は、1億58百万円（前年同期は3百万円の使用）となりました。これは主に定期預金の払戻による収入2億円等を反映したものであります。

財務活動によるキャッシュ・フロー

当第 3 四半期会計期間において投資活動の結果得られた資金は、1億42百万円（前年同期比24.4%減）となりました。これは主に短期借入金の純増加額2億65百万円等を反映したものであります。

3. その他

(1) 会計処理の方法における簡便な方法の採用

法人税等の計上基準・・・法定実効税率をベースとした年間予測税率により計算しております。
たな卸資産の計上基準・・・実地たな卸しは行わず、帳簿たな卸しによっております。

(2) 最近会計年度からの会計処理の方法の変更

法人税法の改正に伴い、平成19年4月1日以降に取得した有形固定資産の減価償却費については、改正後の法人税法に基づく方法に変更しております。

なお、この変更による営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益に与える影響は軽微であります。

4. (要約) 四半期財務諸表

(1) (要約) 四半期貸借対照表

科目	前年同四半期末 (平成19年3月期 第3四半期末)	当四半期末 (平成20年3月期 第3四半期末)	増減		(参考) 前期末 (平成19年3月期末)
	金額 (千円)	金額 (千円)	金額 (千円)	増減率 (%)	金額 (千円)
(資産の部)					
I 流動資産					
現金及び預金	230,402	299,436	69,034	30.0	470,819
受取手形	841,446	779,995	△61,450	△7.3	569,005
売掛金	927,655	751,784	△175,870	△19.0	891,458
たな卸資産	1,600,743	1,485,867	△114,875	△7.2	1,592,349
未収入金	793,492	996,174	202,681	25.5	751,902
その他	71,625	51,464	△20,161	△28.1	60,806
流動資産合計	4,465,365	4,364,722	△100,642	△2.3	4,336,342
II 固定資産					
建物	578,714	550,008	△28,705	△5.0	570,936
機械及び装置	310,018	287,505	△22,513	△7.3	334,486
土地	536,189	514,039	△22,149	△4.1	536,189
投資有価証券	648,138	547,845	△100,293	△15.5	652,168
繰延税金資産	183,563	174,524	△9,039	△4.9	135,023
その他	487,915	475,680	△12,235	△2.5	471,921
固定資産合計	2,744,540	2,549,603	△194,937	△7.1	2,700,726
資産合計	7,209,905	6,914,325	△295,579	△4.1	7,037,068

科目	前年同四半期末 (平成19年3月期 第3四半期末)	当四半期末 (平成20年3月期 第3四半期末)	増減		(参考) 前期末 (平成19年3月期末)
	金額 (千円)	金額 (千円)	金額 (千円)	増減率 (%)	金額 (千円)
(負債の部)					
I 流動負債					
支払手形	532,415	538,374	5,959	1.1	497,876
買掛金	843,950	468,804	△375,146	△44.5	800,629
短期借入金	609,996	777,996	168,000	27.5	522,996
その他	347,045	323,597	△23,447	△6.8	396,841
流動負債合計	2,333,407	2,108,772	△224,634	△9.6	2,218,343
II 固定負債					
退職給付引当金	576,155	571,413	△4,742	△0.8	544,006
その他	190,935	159,987	△30,947	△16.2	183,417
固定負債合計	767,091	731,401	△35,689	△4.7	727,423
負債合計	3,100,498	2,840,174	△260,324	△8.4	2,945,767
(純資産の部)					
I 株主資本					
1. 資本金	1,350,000	1,350,000	—	—	1,350,000
2. 資本剰余金	825,877	825,877	—	—	825,877
3. 利益剰余金	1,788,110	1,813,640	25,530	1.4	1,767,673
4. 自己株式	△2,501	△3,330	△828	33.1	△2,661
株主資本合計	3,961,485	3,986,187	24,701	0.6	3,940,890
II 評価・換算差額等					
1. その他有価証券 評価差額金	147,908	87,963	△59,945	△40.5	150,334
2. 繰延ヘッジ 損益	12	—	△12	—	76
評価・換算差額等 合計	147,920	87,963	△59,957	△40.5	150,410
純資産合計	4,109,406	4,074,151	△35,255	△0.9	4,091,300
負債、純資産 合計	7,209,905	6,914,325	△295,579	△4.1	7,037,068

(2) (要約) 四半期損益計算書

科目	前年同四半期 (平成19年3月期 第3四半期)	当四半期 (平成20年3月期 第3四半期)	増減		(参考) 前期 (平成19年3月期)
	金額 (千円)	金額 (千円)	金額 (千円)	増減率 (%)	金額 (千円)
I 売上高	7,308,638	6,665,577	△643,061	△8.8	9,403,955
II 売上原価	6,080,510	5,373,944	△706,565	△11.6	7,804,529
売上総利益	1,228,128	1,291,632	63,504	5.2	1,599,426
III 販売費及び 一般管理費	1,011,652	1,072,088	60,435	6.0	1,368,176
営業利益	216,475	219,544	3,068	1.4	231,249
IV 営業外収益	40,949	45,703	4,754	11.6	51,361
V 営業外費用	29,997	26,810	△3,187	△10.6	38,714
経常利益	227,427	238,437	11,010	4.8	243,896
VI 特別利益	428	8	△419	△97.9	428
VII 特別損失	3,320	959	△2,360	△71.1	6,506
税引前四半期 (当期) 純利益	224,535	237,486	12,951	5.8	237,819
税金費用	100,480	111,579	11,099	11.0	134,200
四半期 (当期) 純利益	124,055	125,907	1,852	1.5	103,618

(3) (要約) 四半期キャッシュ・フロー計算書

	前年同四半期 (平成19年3月期 第3四半期)	当四半期 (平成20年3月期 第3四半期)	(参考) 前期 (平成19年3月期)
区分	金額 (千円)	金額 (千円)	金額 (千円)
I 営業活動によるキャッシュ・フロー			
税金等調整前四半期 (当期) 純利益	224,535	237,486	237,819
減価償却費	116,142	119,187	161,043
売上債権の増加額	△769,094	△312,229	△451,576
たな卸資産の増減額 (△増加額)	△150,431	106,481	△142,086
仕入債務の増減額 (△減少額)	391,766	△296,949	316,213
その他	39,949	△46,226	69,362
小計	△147,132	△192,249	190,775
法人税等の支払額	△34,115	△86,420	△34,115
その他	8,843	5,883	7,228
営業活動によるキャッシュ・フロー	△172,403	△272,786	163,889
II 投資活動によるキャッシュ・フロー			
定期預金の払戻による収入	—	200,000	—
有形固定資産の取得による支出	△26,693	△65,959	△31,697
その他	23,193	24,590	29,717
投資活動によるキャッシュ・フロー	△3,499	158,631	△1,980
III 財務活動によるキャッシュ・フロー			
短期借入金の増加額	350,000	265,000	273,000
長期借入金の返済による支出	△79,997	△39,997	△99,996
その他	△81,252	△82,231	△81,648
財務活動によるキャッシュ・フロー	188,750	142,771	91,355
IV 現金及び現金同等物の増加額	12,846	28,617	253,263
V 現金及び現金同等物の期首残高	7,555	260,819	7,555
VI 現金及び現金同等物の期末残高	20,402	289,436	260,819